

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道442号 <small>くろかわ</small> 黒川バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県	
起終点	自：熊本県阿蘇郡南小国町瀬の本 至：熊本県阿蘇郡南小国町黒川	延長	5.7km			
事業概要 ：一般国道442号は大分県大分市を起点とし、福岡県大川市に至る延長約182Kmの幹線道路である。当該事業は幅員狭小、線形不良を解消により、安全、円滑な交通を確保するとともに、近傍の黒川温泉に代表される当該地区の観光開発支援を目的とした事業である。						
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	69億円	事業進捗率	44%	供用済延長	2.2km	
計画交通量	3,900台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 34/66億円		総便益 (残事業/事業全体) 39/77億円		
	(残事業)	事業費：33/64億円 維持管理費：1/2億円		基準年：平成16年 走行時間短縮便益：39/76 億円 走行費用減少便益：0/1 億円 交通事故減少便益：0/0 億円		
感度分析の結果						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在） ・物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上）他3項目 						
関係する地方公共団体等の意見						
国道442号は、熊本、大分、福岡県の沿線市町村で構成される3県合同の道路整備促進期成会があり、例年、早期整備の要望が強くなされている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
当該地区近傍に位置する黒川温泉街に代表される南小国町への観光客数は、年々増加しており、採択時と比して、年間50万人も増加し、現在県内外から約150万人訪れている。また、当該路線は県防災計画の中で緊急輸送道路に位置づけられたこと等から、益々、早急な道路整備が必要な状況となっている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成16年度までに2.2Kmを供用している。用地買収もほぼ完了し、今後は鋭意、改良工事を促進していく。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
長年難航していた面積規模の大きい用地買収について、平成16年度にようやく地権者からの了解が得られた。今後は、平成26年度の事業完了を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
特になし						
対応方針						
対応方針決定の理由						
本事業箇所は線形不良で、大型車離合が困難な状況にあるため、周辺の環境・景観に配慮し、コスト縮減に努めて、早期完成を図ること。						
事業概要図						
<p>The map shows the Kurokawa Bypass route. Key segments include: 2TK (L=3500m), 1TK (L=2200m), and a section with L=2200m. It also indicates the '供用済' (Completed) and '再評価箇所' (Re-evaluation area) sections. Landmarks like Kurokawa Onsen and various bridges are marked. A legend shows symbols for '供用済' (Completed) and '再評価箇所' (Re-evaluation area).</p>						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。